

西

## 「中文分級閲読文庫」に選ばれた南吉童話集

周龍梅

西

二〇二一年四月十八日、中国の南京人民大会堂で第十六回「中国全国児童読書シンポジウム」が開かれ、「親近母語（母国語に親しもう）」国語学年別読書（副読本）書目が正式に発表されました。

さらに六月十九日、『中文分級閲読文庫』全シリーズ（一年生から九年生まで全百八冊）の正式発表会が中国国家図書館（北京）で行われ、同時に教師用の指導書も発表されました。シリーズを選んだ「親近

母語」という団体は、中国全土の教育界や読者の間で大きな影響力のある信頼性の高い公益組織です。審査員は中国教育界における權威ある教育研究者、指導者、優秀教師、読者代表などで構成され、保護者から篤く信頼されています。ここで選ばれる図書は、子どもにも保護者にも人気で、今後、発行部数も普及率も教育部（日本の文部科学省にあたる役所）審定による教科書を遥かに上回るようになります。

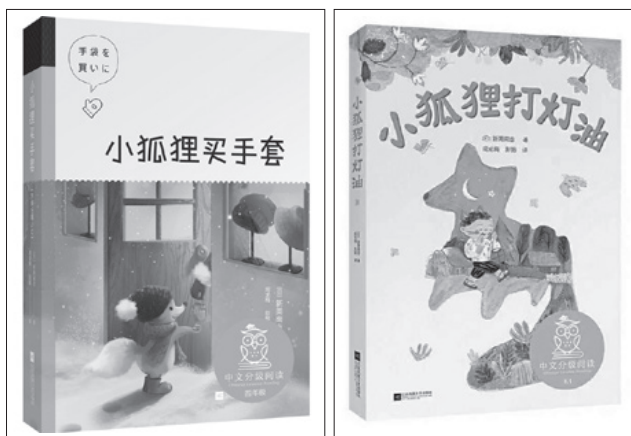


＊其中《彼得兔的故事》《大熊巴巴的故事》无注音

この度、そのシリーズの中に新美南吉の訳本が二冊選ばれました。一年生の部には『きつねのつかい』（周龍梅・彭懿訳／二〇二〇年／江蘇鳳凰文芸出版社）、

四年生の部には『手袋を買いに』（同）がそれぞれ入っています。（左上写真・小学一年生の部選出の本）

発表によると、両書が選ばれた理由は、それぞれ



文分級閲読標準」によると、選ばれる一番の基準はヒューマンな作品であることとなっています。

なお、日本人作家では宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』（同）も

六年生の部に入っています。発表における紹介の順は、外国人作家の中では南吉が一番目です。これは一年生の部に選ばれたということもある

るかもしれませんが、中国では十年以上にわたり、南吉の「去年の木」が教科書に掲載され、子どもたちに馴染み深い作家であることも関係しているかもしれません。

それぞれの年齢層の児童の認知度や読書力、心理的特徴に合い、資質教育の点でも南吉の人間性豊かでほのぼのとした温もりのある作品がもつとも相応しいからだそうです。ちなみに「中

西

シリーズに選ばれたことで、今後、全国に向けて大々的に販売され、学校の教育活動や各種の読書運動に使用されます。今年の夏休みは熱い読書活動が繰り広げられ、南吉の童話が再度多くの中国の子どもたちに広く深く読まれるでしょう。南吉の心が皆に伝わるよう、世界が平和で穏やかであるよう祈念します。

※1 日本の小学一年生から中学三年までにあたる。

※2 「去年の木」は、人民教育出版社の四年生用教科書に二〇〇四年から二〇一八年まで掲載された。（最終年のみ三年生用）

## 【寄稿者プロフィール】

周龍梅

中国ハルビン師範大学外国学部日本語科卒業、日本立正大学国文学修士課程修了。主に宮沢賢治・新美南吉・小川未明の童話作品の翻訳に携わり、最近では日本の絵本翻訳にも取り組んでいる。